



## 白子川な人

(その6)

### TOTOの川掃除「仕掛け人」

#### 鈴木祐子さん

ぶん / 東谷 篤

■白子川の川掃除が最近にわかににぎやかになった。TOTOの社員の人たちが参加するようになったからだ。その「仕掛け人」が鈴木祐子さん。TOTO東京支社の社員で、「TOTO水環境基金選考委員」の一人でもある■2010年度の基金を私たちの会がもらえるようになった、その審査を鈴木さんが担当。いわばスポンサーなのに、助成の決定後も、足しげく私たちの会の定例活動に通ってくるようになった。しかも、毎回他の社員やその家族と連れ立って、だ。こんなスポンサーは初めてだ。よっぽど川が好きなのだろう、聞いてみると、「川に、生れて初めて入ったんですよ」■北海道に生れ育った鈴木さんは絵が好きで、東京の美大に進学。そして卒業と同時にTOTOに就職。最初は絵やデザインを学んでいた関係もあって、システムキッチン設計の部門に配属。以後幾つかの部署についたが、

- 定例活動 報告
- 投稿「大衆に越した頃の話」(番外編)



TOTOの力強い助っ人メンバー勢揃い  
いつしか仕事人間になっていることに気づいた、そう鈴木さんは言う。このままではいけない、何かボランティアのようなものに参加してみたい、そんな思いをもった時、会社がちょうど「水環境基金」を立ち上げることになり、全国の社員からその選考委員を募集。鈴木さんは2010年、迷わず応募した■「創りだそう！水と暮らしの新しい文化」昨年は全国から95団体が応募した。うち助成を受けることができたのは10団体。私たちの会は選ばれてその1つに。「源流水辺の会はまじめな印象で、人気があったんですよ。東京の団体と言うのも珍しかったし」■「社員同士の横のつながりも希薄。お互い外に出て新たなつながりが出来ていったらいいなあと思って、一生懸命社員に呼び掛けてるんです」会社も助成する団体の活動に積極的に参加しようと言う。だから鈴木さんは、新しいつながりの「仕掛け人」。そしてこの白子川も、地域の垣根を越えて、人と人をつないでゆく。

# 定例活動 報告

12月、1月、2月、3月の定例活動から



## 源流域・水の測定データ

測定地点	日 天気 気温℃	12/26	1/23	2/27	3/27
		項目	☀️ 11.0	☀️ 9.1	☀️ 9.1
源流部	水温℃	15.8	13.3	19.7	18.0
	水深cm	19	10	8	14
	pH	5.3	6.0	5.6	10.1
井頭橋	水温℃	15.3	7.9	13.4	10.2
	水深cm	35	19	24	24
	pH	5.5	6.6	6.2	8.8

上記は、毎月記録している測定データのほんの一部。このほか、透視度、電気伝導度、COD、川幅、堰の流量なども測定。

## □白子川源流域の様子

### ★冬から春にかけて 水量は？

12月はいつになく豊富な水量を保っていた。1月、2月と少しずつ水量を減らしつつも、源流部は水の涸れる事態にはならずいた。が、3月の末ごろからはだんだんヌカルミ状態が多くなり、4月に入って桜の頃にはすっかり干上がった状態になってしまった。

### 生きものたちは？

●動物 12月ホトケドジョウが全く見られなかった。井頭橋以降にギンプナの群れ 250匹。このギンプナの群れは、1月には100匹。2月には20匹となり、3月に、ギンプナとアブラハヤの群れ70匹として確認された。2月には源流部にもホトケドジョウやヒキガエル、クロメダカなどが確認された。3月になると、オタマジャクシ、トウキョウダルマガエルかニホンアカガエルの卵なども見られた。干上がっていく源流部で小さな命をつないでいくのは容易ではないかもしれない。しかし、この動物たちは、過酷な環境に耐えて生き抜く知恵も兼ね備えているものだ。  
(この他、スジエビ、アメリカザリガニ、コムズムシ、アメンボ、セキレイ、シジュウカラなど確認。)

●植物 冬枯れてしまうカンガレイやウキヤガラ、ガマ。冬季、じっと我慢のオオフサモ。冬でも水さえあれば元気なアオコ。最近では、この増えるアオコに悩まされている。

## 活動記録

- 12/23 源流通信第31号発行
- 12/26 定例活動 (TOTO水環境基金のTOTOグループ社員、家族が川活動に参加)
- 1/23 定例活動 ( " " )
- 2/19 「ためしてなっとく! 地域の活動」 イベント出展 (練馬区地域福祉係主催)
- 2/27 定例活動 (TOTO水環境基金のTOTOグループ社員、家族が川活動に参加)
- 3/11 東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故による大被害
- 3/27 定例活動

宮城県 岩手県 福島県 北海道 青森県 山形県  
茨城県 栃木県 群馬県 千葉県 東京都 神奈川県

東日本大震災で被災された方々が、  
この困難を乗り越えることができますように !!

☆

今まで、多くの恵みを私たちに届けてくださった方々のために !!  
当会員 90名の【人間力】で、知恵を出しあい、支援しましょう !!

・・・ アイデア・提案をお寄せください → tel, fax 03-3923-8430 菅沢 ・・・



昭和 37(1962)年 大泉に越した頃

頃の話 (番外編)



池野明男 (エコロ)

私が新世帯を持つてから南大泉に越した頃、周囲は一面の畑と森で、買物も郵便局も当時の保谷町にしかなく、実質的には保谷南大泉という地区でした。それから私共家庭にも子供が次々と生まれ、私自身も芭蕉翁ではないが「旅ごころ定まりぬ」の如くやつと此処に「住みこころ」が定まった次第です。

幼い子供達は時折り祖母や母親と、付近の農家を訪ね歩き野菜をもらったり、白子川の池へ探険散歩をしたりでしたが、そのなかでも「ウシやヤギさん、ブタさん」達を見物するのも楽しみの一つだったと思います。この保谷や片山の屋敷森にはゴジケイが走りまわり、山鳩が鳴き、春の鶯、夏には螢、秋は雑木林の紅葉、冬にはヒヨドリがキーキーと叫び、その風景は田園の桃源郷でありました。

この片田舎の町会関係では、当時の南大泉町会連合会の婦人部(会)が、私達のような「新住民」と先住民達との融和をはかり、

その卓越した実行は、「読売文化賞」を受賞したほどです。

また私は、「手づくり有志」のコミュニティである白子川源流・水辺の会主催の第二回「源流まつり」から参加し、白子川源流と流域の水質や自然を守るため、雨水の自家利用と庭への浸透化を進めました。このエコ活動を通じて、広く仲間づくり、ひいては、パンねりまの環境思想啓発の軸になろうというこの団体の趣旨に賛同し、会員にさせて戴いた次第です。もう一方で、南大泉と東大泉とは昔から心情的感情的にもやゝ「温度差」があり、それを埋める面でもこの会は格好の地域コミュニティだと認識し、私の心の中では「ご、ご、ご、ミニ、ミニ、ミニ」と思ってもおります。

永らく拙文を講読いただき厚く御礼申し上げます。また、この「源流通信」をお借りしまして、他の記事にてお目にかかれることを楽しみにしております。結語「大泉に越して良かった」「大泉よ永遠なれ!」「大泉万歳!」



## アメンボ

水たまり等どこにも見られる昆虫です。源流にも一般種であるアメンボがいます。カメムシ属ですが、体から発するにおいは嫌なにおいというより、甘い匂いで、飴のような匂いだから「アメンボ」と名づけられたと言われています。肉食性で、他の虫などを捕まえて体液を吸って生活しています。足に細かい毛が生えており、表面張力で水面上にいられる独特の虫です。



Web サイト「昆虫図鑑」より

### ■今後のスケジュール

- 5/中旬 大泉南小 4年生 キックオフ授業
- 5/22 定例活動
- 6/ 5 身近な川の一斉調査 午前9時～
- 6/19 定期総会 午後1時～
- 6/25 大泉南小 保護者への白子川説明会
- 6/26 定例活動
- 7/24 定例活動
- 8/28 定例活動

☆定例活動は午後1:30～

### 第11回 定期総会のお知らせ

6月19日(日) 午後1時～  
東大泉地域集会所

- ◎この1年を振り返り、新たにスタートする大切な会合です。
- ◎会への提案や思っていることなどを、みんなで検討する場でもあります。  
(後日、詳細をご案内します)

白子川源流・水辺の会  
「10周年記念特別号」の  
あなたの言葉を  
会員全員からあつめています。  
しめ切りは5月8日(日)です。

### 全国一斉

### 身近な川の一斉調査

6月5日(日) 9時～12時  
大泉井頭公園(井頭橋) 集合

\*

水質・水量・水温・生物・川幅などを調査します。

### 編集後記

▼西武線までの白子川は、ちょっとした植物の宝庫。背の高いアシ、青々と葉を茂らせるクレソン、流れに身を任せてそよぐ水草。その中を湧水の流れが、きらめきながら一筋の道を作っている。眺めていて見飽きぬこの風景。今にこの中に、愛らしいカモのヒナをヒーフーと見つける楽しみが加わる。(さ)

▼3・11以降、気持ちの奥で【何かに】ぶつかる。被災者の声に「地震はつらいが、人を憎まないですむのが救い」とあった。自然とともに生きるということを考える。きょうも白子川は流れ、ここでの活動は十年たつ。まちで生まれ育った身として、川とかかわれることはありがたい。(け)

※この会報は年3回発行しています

発行 白子川源流・水辺の会  
編集 東谷 篤/東谷貞子/菅沢恵子  
題字 宮本沙海  
発行部数 1000部  
代表 菅沢 博 03-3923-8430  
練馬区南大泉 1-10-5  
[suga-lohas@jcom.home.ne.jp](mailto:suga-lohas@jcom.home.ne.jp)  
[http://www.geocities.jp/sirako\\_river/](http://www.geocities.jp/sirako_river/)